

平成26年1月号

保健だより

奈良県立添上高等学校 保健室

「おしゃれ障害」という言葉を聞いたことがありますか。あまりなじみがないかもしれませんが、中高生が不適切な「おしゃれ」をしたために起こる様々な障害（病気）を総称しています。

ヘアカラー（髪染め）、カラーコンタクト、ピアス、メイクなどに代表されるいわゆる「おしゃれ」の多くは、化学物質を含んでおり、知識の無いままに、行き過ぎの「おしゃれ」をすることは身体に害を及ぼすことがあります。

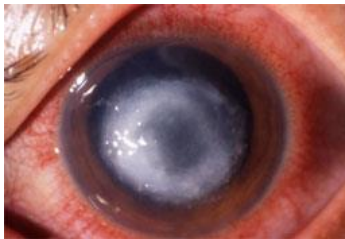
失明の危険性もある!!

カラーコンタクトレンズ

「黒目が大きく見えて、可愛らしいから」、「外国人のような瞳にあこがれて」等の理由で、カラーコンタクトを使用している人が増えています。

それに伴い、健康被害も多くなってきています。

日本でも、カラーコンタクトは多数販売されていますが、量販店（ドンキーホーテ等）や、ネット等で格安で販売されている物の多くは、医療用具（眼科医の処方を受けていない）ではなく、雑貨です。その為、角膜に必要な酸素が届かない物、コンタクトの色素（色）が落ちてしまう物、不衛生で細菌が付着している物など、海外製の製品を中心に非常に劣悪な商品も出回っています。



眼の充血、痛み、かゆみ等「眼粘膜刺激」を引き起こす、細胞毒性により「角膜炎」や「結膜炎」などの岩眼障害の恐れがあるだけでなく、ひどくなると「アカントアメーバ角膜炎」や「角膜腫瘍」を起こし、視力低下から、失明に至ることもあります。一度失った視力は、二度と戻ることはありません。



体内に蓄積され続ける毒!!

ヘアカラー



ヘアカラーはかなりの頻度で接触皮膚炎（かぶれ）を起こします。カラーリング剤のほとんどは酸化染毛剤と呼ばれる種類のもので、パラフェニレンジアミン（PPD）という化学物質を酸化することにより髪を黒く染めます。このPPDは極めてかぶれを起こしやすい物質です。また茶髪にするにはアルカリ性の薬品を使って脱色しますので、地肌も痛めます。

さらに、一時的な炎症等症状だけでなく、もっと怖いのが「経皮毒」、
「経皮毒」とは、皮膚から吸収された毒（化学物質）は、その毒素の90%ほどは排出されずに身体に蓄積され、やがて様々な影響をおよぼしてくると言われています。

特に女の子は、これらの毒素は子宮に溜まりやすく、将来生まれてくる赤ちゃんにも影響を与えていると言われています。

一生治らない 金属アレルギー!!

ピアス

ピアスを入れることにより、金属の成分がすこしずつ汗や体液に溶け出し、溶け出した金属によって、金属アレルギーを起こすことがあります。



これにより赤く腫れたり、かゆみ、湿疹水ぶくれなどを起こします。

一度かぶれたものに触ると再度かぶれてしまい、それが一生続きます。

金属アレルギーは一度なると、一生治らないのです。

また、金属アレルギーとは別に、ピアスのアナから最近が入り赤く腫れあがり化膿したり、また、赤く腫れあがったまま固くなり、ケロイドを作る事もあります。

☆ピアスをする時、入れ墨同様、献血もしばらくの間、出来なくなります。

